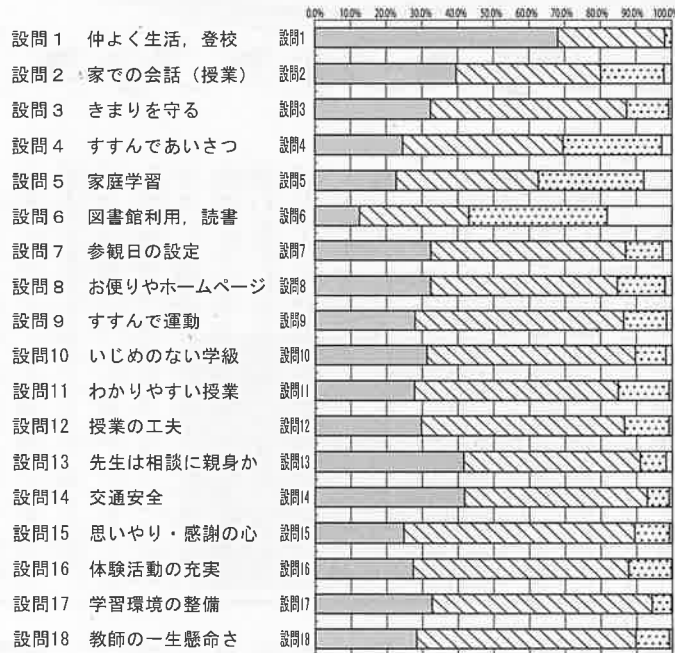


# 牟呂小学校をもっとよくするために ～ 学校教育目標の達成を目指して～

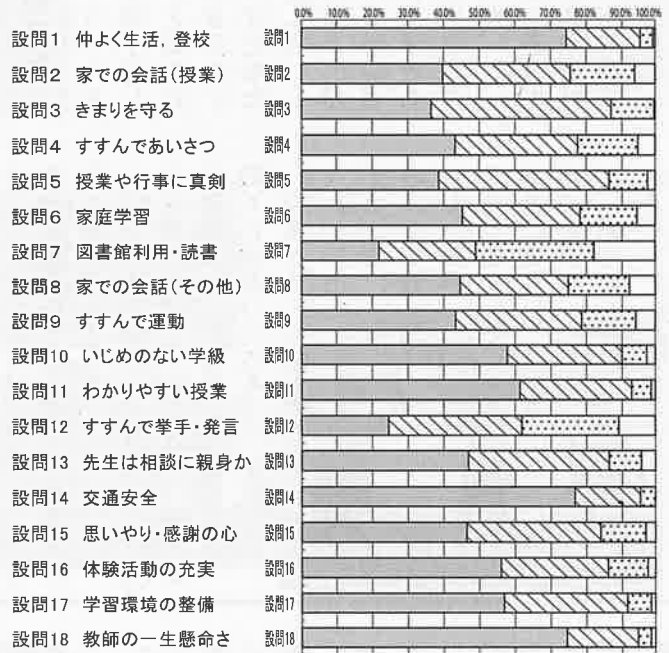
例年のように、保護者と児童を対象に「教育活動に関するアンケート」を実施しました。その結果を下図に示します。この結果をもとにして、牟呂小学校全職員で学校の教育力を高めていこうと考えています。

さて、結果について見ますと、すべての設問において児童・保護者ともに肯定的な考えが伺え、良好であるととらえることができます。このような傾向は、ここ数年続いています。

保護者アンケート



児童アンケート



1よくできている ■■■ 2まあまあできている ■■■ 3あまりできていない ■■■ 4できていない □

設問4「すすんであいさつ」の項目において、児童のアンケート結果では1・2合わせて約80%と高い数値を示しました。保護者の方は、1・2合わせて約70%となっています。数値に違いがみられることから、子どもたちは、学校であいさつができていますが、家庭・地域では校内ほど積極的でないという実態が見て取れます。

児童設問7の「図書館利用・読書」の項目においては、1・2合わせて約50%に対し、3が約30%という結果になりました。昨年度に比べ、1・2を選んだ児童の割合が減少しました。コロナ禍の折、図書室を利用する機会が減ったようです。保護者の方たちも「図書室利用が減った」と思っていることがわかります。

保護者設問7の「参観日の適切な設定」については、コロナ感染防止措置として実施しなかった学校行事が多く、保護者の皆様に十分お応えすることができませんでした。

児童設問12の「すすんで挙手・発言」の項目においては、1・2合わせて約63%に対し、3が約27%という結果になりました。日々の授業では、「発表できる」「考える」授業を進めることが必要であると考えます。また、2年後の研究発表に向けてこの力を伸ばしていかなければならないことも浮き彫りとなりました。

全体的に、子どもたちの学校生活の様子が落ち着いていることが結果からわかりました。また、子どもたちを見守ってくださる保護者の方たちも、温かい目で子どもたちを見守ってくださっていることが伺えました。学校教育に対して肯定的に見ていただき、職員も励まされる結果となりました。今後も教育活動の工夫改善をし、少しでも数値を上昇させることができるよう努力していこうと考えます。